

横浜市歴史博物館 YOKOHAMA HISTORY MUSEUM NEWS News

2020.7
No. 49

#レックルがゆく



新連載 [館長エッセイ vol.1] 些事—

企画展「俳優 緒形拳とその時代
—戦後大衆文化史の軌跡—」開催迫る

INFORMATION

◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展覧会の内容や下記の基本情報を変更する場合があります。
最新の情報はお出かけ前に、当館ホームページまたはお電話にてご確認ください。

展覧会

企画展

明治・大正ハマの街—市庁舎建設地・洲干島遺跡—
【会期変更】開催中～9月22日（火・祝）

横浜市指定・登録文化財展

12月16日（水）～2021年1月11日（月・祝）

企画展

俳優緒形拳とその時代—戦後大衆文化史の軌跡—
10月3日（土）～12月6日（日）

特別展

横浜の仏像—しられざるみほとけたち
1月23日（土）～3月21日（日）

◆7月23日より予定しておりました企画展「Japanese Folk Textiles 布の美—東北の暮らしを彩る手仕事の世界—（仮）」は来年度に開催（予定）となりました。

イベント

チボリ兄弟舎紙芝居 8月22日（土）、23日（日） 時間等詳細は決まり次第HPでお知らせします。

基本情報

横浜市歴史博物館および大塚・歳勝土遺跡公園の利用案内

○開館時間

9:00～17:00（ただし券売は16:30まで）
大塚遺跡を除く公園部分は24時間オープン

○休館日

月曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）、年末年始 そのほか
展示替えなどのため、臨時に休館することがあります。

○常設展観覧料

区分	個人	団体（20人以上、1人につき）
一般	400円	320円
高校生・大学生	200円	160円
小学生・中学生	100円	80円
横浜市内在住65歳以上	100円	80円

■特別展・企画展の観覧料は別に定めます。

■毎週土曜日は、小・中・高校生は無料です。

■横浜市内在住の65歳以上の方は、「濱ともカード」など証明
できるものをご提示ください。

■「身体障害者手帳」「愛の手帳（療育手帳）」「精神障害者
保健福祉手帳」をお持ちの方と介護者は無料です。入館
の際に手帳をご提示ください。

■補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）と一緒に入館できます。

○交通

横浜市営地下鉄「センター北駅」下車、1番出口から徒歩5分
（「センター北駅」へは横浜駅から23分、新横浜駅から12分）
・駐車場あり（1時間200円）

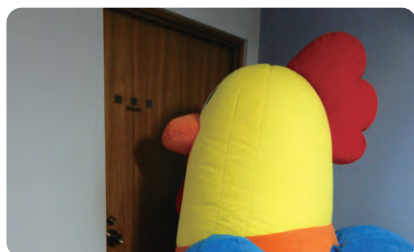


[URL] <https://www.rekihaku.city.yokohama.jp/>

[twitter] @yokorekihaku



今日は館長室。緊張しちゃうよ
トントン、失礼しまあーす
ガチャ



あ、誰もいない!
＼わたしが館長のレックルで一す／
なんちゃって。
ホンモノの館長にはナイショね



ここは照明がLED になって、
ボクもクッキリ見えるでしょ?



博物館の外側を紹介するね!
ずっと塀に囲われて見えなかったよね?
博物館入口前の天井も新しくなったんだ。
キレイな色でしょー!
ここも照明がLED になったよ
夜のイベントで点灯したいなあ。



え!レックルが館長に?・・・まさかね?



1 階から屋上までのエレベーターも
新しくなったよ!
ボクもラクラク乗れちゃう♪
あれ?どこが変わったの?!



「ドアが開きます。Closing door 〜」



もしかして英語? (正解!)



ここは企画展示室。
突然ですが、問題です!
「今までと何か変わりました。
さて何が変わったのでしょうか?」



正解は「壁紙」で一す。
これ作品に影響を与えない
博物館用なんだ♪ 明るくてキレイだし、
なんだか広く感じない?

#ここが変わった



4月1日
こんにちは! ぼくレックル。みんな元気?
やっとみんなと会える〜って思ってたのに
休館延長で本当に残念。。。
改修工事でどんなところが
リフレッシュしたのか、
もうがまんできないから紹介しちゃうね!



見て〜!
天井がすごくキレイになったんだよ!
(・・・でも、みんな前の天井がどんなだっ
たか覚えてるかなあ・・・?)



横浜歴史博物館は、2019年8月より改修工事のため、また2020年4月からは新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館を継続していましたが、6月2日(火)より、感染防止対策を行った上で開館しました。
4月1日に開幕を予定してありました企画展「明治・大正八馬の街」市庁舎建設地・洲千島遺跡」も会期を同日から9月22日までに変更して開催しています。
改修工事で変わったところ、休館中の博物館のお仕事について、その一部を
マスコットキャラクター レックルがゆる〜くご案内

#レックルがゆく



本記事は当館の公式ツイッター
(@yokorekihaku) 等を一部修正し
再録したものです。

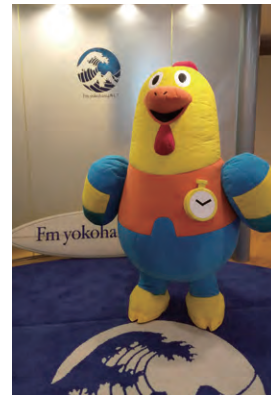
#広報・プロモーション活動



休館中いちばんの出来事といえば…
ボクの着ぐるみができたんだ!?

歴史劇場の初代レックル先輩やイラストで登場した2代目レックル先輩もまだまだ活躍してるけど、ボクもさっそく外に出てPR活動をしてきたよ。初仕事はFMヨコハマのラジオ番組「Lovely Day♡」、学芸員さんが出演するから応援にいつてきたよ。

えっ? 中の人是谁かって? 中に人なんて入ってないよ!
中まで100%レックルなんだから…



FMヨコハマ「Lovely Day♡／Lovely Day♡～hana金～」
(月～金 9:00～12:00)
DJ:(月)～(木)近藤さや香・(金)はな
リポーター:藤田優一

#再開・コロナ対策



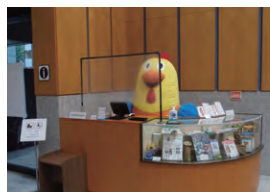
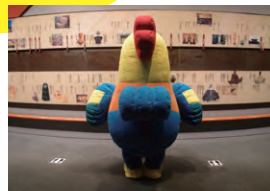
博物館に着いたら、
まず検温と手指の消毒を!



連絡シートに記入してね。
(任意です)



見学の時は他の人と距離を保って。2mの間隔は、
足元の印を目安に。ボクの幅。。??



スタッフはマスクやフェイスシールドをつけて、カウンターには
ビニールを貼って飛沫防止対策してるよ。
利用場所、時間を限定して、館内の消毒もしっかり!



6月2日!

おひさしぶり～

10か月ぶりにリフレッシュオープン! 時間や
観覧場所を限定してのオープンとなるけど
みんなと会えるのはうれしいなあ～♪



新型コロナウイルス、心配だね。
ボクもフェイスシールド
つくってもらったんだ。
できるだけみんなが安心して
見学できるように。。。
感染拡大防止のため博物館の対策と
皆さんへのお願いです。

#調査・収集・整理



休館中も学芸員さんたちは大忙し。

学芸員さんのお仕事というと展覧会が思い浮かぶけど、
そこに並ぶたくさんのものを、
1つ1つていねいに調査して集めたり、
整理をしたりするのも大事なお仕事なんだ。
4月頃にはたくさんの掛軸の調査や整理をしていたよ。
未来の展覧会のために頑張っていたよ。



いよいよ!? やっと??
博物館でのお買い物
キャッシュレスになったよー



ミュージアムショップでのお買い物も、ピッ
チケットの購入も、ピッ
ジュースの自販機も、ピッ
クレジットカード、交通系ICカードで、ピッ
使いやすくなったかな?



博物館内のフロア案内図と
ビクトグラムも新しく変わったんだよー。



ボクも登場!
わかりやすく、かわいく!?
いろいろなところに掲示してあるから、
探してみてねー。



#レキハクファーム



今年は大豊作の予感!?

博物館 News でも紹介しているけど、横浜市歴史博物館
では畑を借りてお米や小麦などを育てているよ。
畑作2年目の冬小麦の栽培にチャレンジ。去年よりも豊
作で、グングン育ってるね。休館中も雑草取りや追肥など、
畑のメンテナンスはかかせないよ。



いま、横浜の中世城郭がアツい! ②

「城郭」文化資源としての活用と博物館



各300円(税込)
解説カードつき

横浜市指定史跡 茅ヶ崎城跡
令和 年 月 日

横浜市指定史跡 小机城
令和 年 月 日

各300円(税込)
解説カードつき

いまや空前のお城・城郭ブーム。各地の城跡はさかんに整備されて様々な情報発信が行われ、なかでも山城や平城、皆など様々な形態をもつ中世城郭は、とくに攻城ファンの注目を集めています。いっぽうで、城郭などの文化資源を観光や地域の活性化に活用する国の観光戦略も進んでおり、こうした流れの中で、博物館には、ブームに文化的な価値を付加し、高めることが求められています。

近年、このブームを牽引するアイテムとして「御城印」が注目されています。御城印とは、和紙調の用紙に城名やゆかりある城主の家紋や花押などをあしらったもので、従来の寺社の御朱印にちなんだ考案されたものです。カラーや金彩のある華やかなものもあり、ファンの間で収集熱が高まっています。

横浜市歴史博物館では、二〇二〇年四月に小机城(港北区)と茅ヶ崎城(都筑区)の御城印を製作しました。用紙はともに厚手の和紙調で、大きさは縦一四・八センチ×横一〇・五センチ。小机城御城印のデザインは、中央に「続日本百名城 登城記念 小机城」の文字を入れ、二〇一七年に続日本百名城に選定されたことを示した上で、北条氏の三鱗紋と城代笠原氏の丸に三つ柏紋を配置しました。両サイドには竹の図案をあしらひ、小机城の壮大な空堀に映える竹林をイメージしています。いっぽう茅ヶ崎城跡は二〇〇九年に横浜市の史跡に指定されていることから、中央に「横浜市指定史跡 茅ヶ崎城跡」の文字を配し、その奥に城跡より出土した渦巻き紋のあるカワラケ(素焼きの皿)にちなんだウズマキを配しました。渦巻き紋のあるカワラケは南関東の城郭に分布するところから、一説には扇谷上杉氏の勢力にかかわる遺物とも考えられています。

横浜市内のみならず関西や九州地方など遠隔地からの注文や問合せもいただき、注目度の高さを実感しています。開館中はミュージアムショップで購入いただけるほか、通信販売も行っています。

当館では、文化資源としての「城郭」の活用に関する取組として、御城印のほか、前号で紹介した学校への訪問授業や、四七号で紹介した解説パンフレットの作成などを引き続き進めてまいります。

(阿諏訪青美)

企画展

俳優 緒形拳とその時代

—戦後大衆文化史の軌跡—

開催迫る

開催期間：令和2年10月3日(土)～12月6日(日)

時代とともに

緒形が活躍した時代は、戦後の日本の社会、そしてメディアのあり方が目まぐるしく移り変わる時代と重なる。本展はこの緒形の足跡とともに、戦後日本の芸能史・大衆文化史を俯瞰し、現代史に位置づける試みである。

東海大学と連携

基礎となるのは、緒形本人が遺した台本、ポスター、パンフレット、小道具、自筆の書画などからなる膨大な資料群。現在、東海大学が整理に取り組んでいる。本展は、その作業の成果を広く公開する、東海大学との連携展示でもある。

自らの歩みを重ねて

緒形の歩みと社会やメディアの歩み、そして自分自身の歩みを重ね合わせながら楽しめる展示を目指し、東海大学・当館を中心とした担当チームが、現在鋭意準備に取り組んでいる。

この秋、名優とその作品たちとともに、戦後の時代と自身の記憶をたどる旅に出てみてはいかがだろう。

俳優・緒形拳 (1937～2008)

1958年の劇団新国劇入団以来、71才で亡くなるまでの長年にわたり、舞台、TV、映画など多分野で活躍した、戦後日本を代表する名優である。



写真上：新国劇時代の緒形拳 緒形事務所写真提供
写真左：東海大学での資料整理のようす

筒形土偶、ヨコハマへ!?

沖縄にいたり、群馬にいたり、2019-2020シーズンは忙しかったけど、ようやく、ホームグラウンドの常設展示室に帰ってきたんだ。

ところが、なが〜い改修工事のお休みが終わって、4月からみんなに会えると思っていたのに、新型コロナウイルスの流行で、2ヶ月もまた会えなくなっちゃって…

...

だから、みんなに会いたいと思って、また博物館を飛び出してきたんだ。県をまたいだお出かけはできなかったけど、最近行ってきたところを紹介するよ。

まずは、今年で開局35周年の歴史を持つ横浜の老舗FMラジオ局「FMヨコハマ」さん。3月頃だったかなあ? みなとみらいのランドマークタワーにあるスタジオで、平日午前中の情報番組「Lovely Day♡」に考古学担当の学芸員ハシグチさんと一緒に出演してきたよ〜。

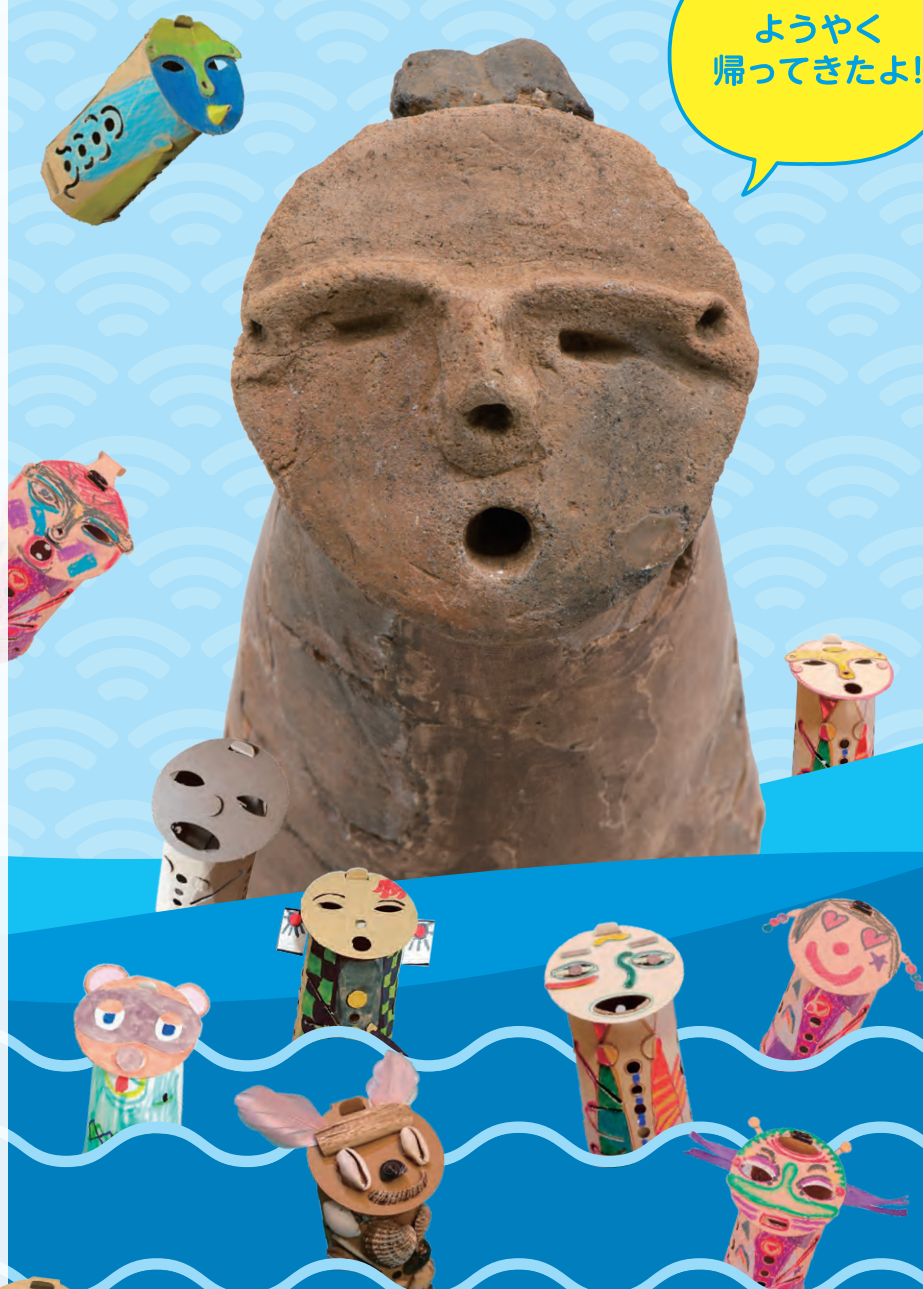


「レキハクLovely Museum」のコーナーでは、ハシグチさんが「土偶ってズバリなんでしょう?」なんて難しいクイズをDJの近藤さや香さんに出してたよ〜。



正解は「まだ、わかってない」なんて、ちょっとイジワルだね…

これがオリジナルミュージアムショップで販売中! 800円(税込)



カスタマイズされたペーパークラフトはモニターキャンペーンに当選された皆さんの作品の一部です。ご協力ありがとうございました。

やあ、みんなー!
常設展原始Iの人気者、
原出口遺跡出土の筒形土偶だよー。

その後は、日本大通り駅の真上にある、横浜ユーラシア文化館で開かれた展覧会「しきしまの大和へーアジア文華往来ー」の関連展示「くらべてみよう!よこはまと大和を」にいったきたよ。臨時休館で会期が短くなっちゃったんだけど、6月13日から7月12日まで、久しぶりに展示ケースの中からみんなに会えたよ。

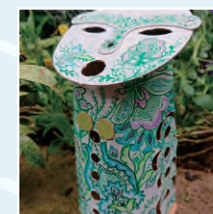
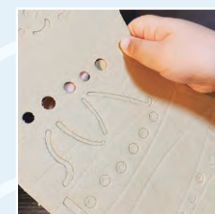


やっぱり、みんなに見られるって、いいわあ〜。しかも今回は、横浜市内から出土した土偶たちに加えて、県外からやってきた土偶たちと一緒にだったんだ。「土偶女子」として有名な畠田亜紀子(コンダアキコ)さんにも初めて会えたよ〜。



そうそう、博物館からお出かけしている間に、ボクのペーパークラフトができたんだ。大日本印刷さんとコラボして開発してもらったよ。筒形を自然な丸みにするのが難しかったんだって、デザイナーさんが言ってたよ。カラダの模様やアタマの把手、顔や口もリアルに再現してもらったよ〜。

でもみんなは素敵なカラーリングを楽しんでいるのかな? そのまま作ってもいいし、自分だけの作品にカスタマイズしてもいいし、みんなのうちにボクをかざってね。



じゃ、まったねー。バイバイ。

つどえ「横浜の仏像」!!



①仏像調査の様子

今、博物館では来年1月末より開催の「横浜の仏像―しられざるみほとけたち」の準備を進めています。横浜地域の仏像が一挙に集うはじめてのものであり、横浜市が仏像彫刻の文化財調査を本格的にはじめてから約50年という節目にあたり、その集大成ともなる展示といえます。

今回の「横浜の仏像」展は昨年の5月頃から準備を開始。「展示会の準備」と一口でいわれてもピンとこないかもしれませんが、一つの展示ができるまでには、多くの時間と細かな仕事の積み重ねが必要になります。仏様は、現在も信仰の対象として寺院にまつられています。そのため実際に、所蔵する各寺院にうかがい展示に“お出まし”いただけるように展示会コンセ



②仏像調査の様子



③写真撮影の様子

プトを説明し、いざ出陳に応じていただけたら、安全に会場まで運べるか仏像の現状を確認したり、お寺から展示会場に運ぶことを想定し境内に輸送用のトラックが入れるか、安全に運ぶため周辺の様子の下調べも欠かせません。場合によっては仏像の詳細な調査とともに写真撮影を別途行います【写真①、②、③】。

横浜を代表する諸仏、長らく非公開であった仏像や新出の仏像を含め約40件の展示を予定しています。まさに決定版といってよい内容です。そんな「横浜の仏像」展は2021年1月23日～3月21日の開催予定となります。是非お見逃しなく！

(吉井 大門)

2020
1/15-4/10

*新型コロナウイルス感染対策のため2月29日(土)で終了



展示室の様子



戦前期の体育の授業風景 横浜市立戸部小学校所蔵

戸部小学校の140年と横浜

戸部小学校は横浜市西区戸部にあり、2019年に創立140周年を迎えた学校です。同校は創立130周年を記念して2009年に展示館(郷土資料室)を開設しました。2016年度には当館と協同で所蔵資料の整理を行い、2019年には横浜市史資料室(以下資料室)と当館による再調査を行いました。

それら調査の成果をもとに、資料室と当館は、2020年1月15日から4月10日まで、小学校所蔵資料を主に用い、資料室で「戸部小学校の140年と横浜」と題する展示を開催し、戸部の歴史や創設以来の学校と地域の歴史についてたどりましました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月末までで展示は中止になりましたが、展示開催時には、学校関係者や地域の方々など多くの方に来ていただきました。当館では、今後とも、地域に残された資料を多くの方に見ていただけるよう、アウトリーチ事業にも力を注いでいきたいと考えています。

(石崎 康子)

2020
2/27-3/10

*新型コロナウイルス感染対策のため3月1日(日)で終了



展示の様子

「古代のムラの仏堂―『図説都筑の歴史』より―」

横浜市都筑図書館との共催で出張ミニ展示を開催し、前年11月に刊行された『図説都筑の歴史』第3章から、「古代のムラの神・仏」で取り上げた都筑区藪根不動原遺跡の出土品を展示しました。この遺跡からは、奈良時代と平安時代につくられた2つの仏堂の遺構や、僧侶が托鉢に使用する鉢、浄瓶という仏具、素焼きの小塔一瓦塔や、硯、文字の書かれた土器などの仏教信仰に関する品々が出土しています。出土品はいずれも破片となっており、都筑図書館に来られた皆様に、地元都筑区から出土した古代の資料をまじかに見ていただこうと企画しました。残念ながら開会後わずか4日で、新型コロナウイルス感染対策のため都筑図書館が閲覧停止となり、このミニ展示も終了しました。いつかもう一度、機会がもてればと願っています。

(柳沼 千枝)

新連載…?

館長 エッセイ

vol.1
些事

文 鈴木靖民

私が館長の
鈴木です。



横浜国立大学博物館
館長 鈴木靖民

これまでとは違って、私の身の回りの些事を記してみます。最近、私は二〇一〇年代からこんなにちままでに書いた小論や講演会などの原稿をもとにした『古代の日本と東アジア—人とモノの交流史』（勉誠出版、七月）を刊行しました。一世紀から七・八世紀を主にして一〇世紀に及ぶ時代までを、四部一七編で構成しました。

四部の題名は、王権の始原・交易の力、中心化する周辺・あらがう周

辺、外交の形・移動する文化、交流する国家・媒介する中国、という象徴的な表現ですが、各論考の性格、主旨を考え、しかもほぼ時代順に並べて載せました。

加耶（加羅）、高句麗の王権の動向をはじめ、東アジア、東ユーラシア・シルクロードとの交流などのほか、倭王権の国家へのあゆみを東アジアのなかで描きました。六世紀の新羅の倭典について、『古事類苑』外交部

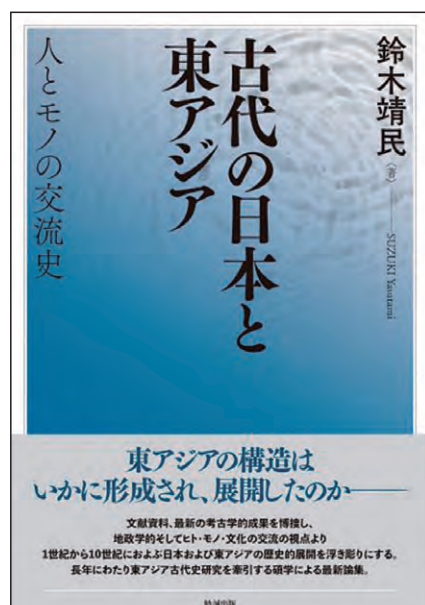
の月報に寄せた小稿は、二〇代の思いつき深い、懐かしさの籠ったものです。日本の七世紀の中宮寺の半跏思惟像と韓国の類似の仏像に関する一文は、二〇一六年の日韓での展示に伴うシンポジウムの報告です。反正天皇の遠忌にちなみ、二〇〇九年、時の天皇・皇后ならびに皇太子夫妻の前で進講したものも含んでいます。書名が大仰かとも思いますが、どれも市民を意識しています。交流

という概念規定は「はじめに」でふれ、各論文に各地、各時代に認められる多様な歴史事実を掲げたのですが、歴史学的にどう理論化できるかはまだ先のことのように考えます。

国家形成の理論に関して、私には見過ごせない書物も出されました。『歴史評論』八四二号（六月）に、昨年末の歴史科学協議会大会の記録が載り、関根淳さんの「日本古代国家論の研究潮流」についての報告を知り

ましたが、国際的、世界的な国家理論の成果を論じた研究として、考古学で知られる都出比呂志さんの初期国家論と並んで、私の首長制社会論が取り上げられていました（以前、同じ大会で二人が同じ内容を報告し、議論したことがあります）。しかし文献史学でこの議論を継承できる研究者がいらない、と結んでいます。それにしても、最近、私の長年の孤立感をいやすデヴィッド・グ

レーバーさんの『民主主義の非西洋起源について』（以文社、四月）が出たことを、政治思想史の宇野重規さんの書評で知りました。首長制論や人類学が日本史には無益だという意見があり、時々蒼茫たる大海に立つた気もしていましたが、私は意を強くしました。日常の些事と現状をつなぐ何ものかを探求したいのですが、これはまたの機会に話そうと考えます。



『古代の日本と東アジア 人とモノの交流史』
鈴木靖民 著
2020年7月 勉誠出版 A5判 472頁
11,000円（税込）
（ミュージアムショップで取り扱いしております）

米と麦 PART2

レキハクファーム通信

第3号

News47号から1号おいての歴博ファーム通信3号です。二毛作も二周期目となり、中の人が少しずつ慣れてきたように思える、緑区のシェア畑にあるレキハクファーム(と博物館裏の小さな田んぼ)での栽培の様子をお伝えします。

平成から令和に年号が変わってしばらくたった令和元年6月11日、陸稲のうるち種である農林24号の種もみを60株分まきました。9月の台風15号に株をなぎ倒されながらも、つづく台風19号が来る直前の10月11日に、博物館裏の水稲と合わせて何とか収穫をすることができました。陸稲と水稲の稲穂の付き具合を見ると、やはり水稲の方がたわわに実っていて、陸稲の収穫量が少ないのは特性によるものなのか、中の人修行不足なのか判断に迷うところです(おそらく後者でしょう)。やはりまったく慣れていませんでした。

小麦は12月15日に前回と同じ農林61号を54株分まきました。小麦は本当に何もしなくても(は言い過ぎかもしれませんが)育ってくれるので陸稲より安心して栽培できます。年が明けて令和2年、麦踏と草取りを行いつつ4月の末には穂が出て6月17日に無事収穫することができました。小麦は豊作と言って良いでせでした。昨年の収穫の時も思いましたがやはり小麦は「強い」。

それぞれ収穫は今後の博物館活動に活用していく予定ですが、小麦は石臼で挽いて小麦粉を作ろうと思います。小麦粉から何をしようかと思案中ですが次回のレキハクファーム通信第4号でお伝えできるようにがんばります。

(橋口 豊)

陸稲

6/11



陸稲の種まき

10/11



陸稲の収穫

9/10



台風15号の猛威

小麦

2/15



麦踏をしたあと

6/17

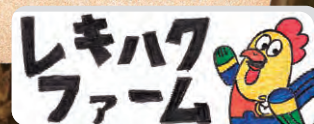


収穫

4/28



穂が出る



Twitterアカウント https://twitter.com/rekihaku_farm

横浜市歴史博物館レキハクファーム通信(@rekihaku_farm)で日々の活動の様子をつぶやいています!

報告会「茅刈り人になってみて」の様子
20人以上の参加者の前で
4人が報告をしました



富士山茅葺き
フォーラムの様子



「かやぶき屋根プロジェクト」の活動を
朝霧高原茅場の関係者の皆さんに報告できました

道の駅朝霧高原での
パネル展示の様子



「かやぶき屋根プロジェクト」を取り上げてくれました

令和元年度下半期の「かやぶき屋根プロジェクト」は、新型コロナウイルスの影響で3月の活動ができませんでした。しかし、2月9日には当館で実施した報告会「茅刈り人になってみて」、2月16日には静岡県富士宮市根原区が開催した「富士山茅葺きフォーラム」と道の駅朝霧高原でのパネル展示で活動を報告し、これまでの振り返りができました。

また『「かやぶき屋根プロジェクト」って何?』というガイドブックも作成し当館HPにアップしました。右記QRコードからご覧いただけます。かやぶき屋根プロジェクトの活動が一目で分かりますので是非お読みください。

令和2年度の「かやぶき屋根プロジェクト」も引き続き、ボランティアの皆さんとともに活動する予定です。その内容は、大塚・歳勝土遺跡公園の復元竪穴住居・復元高床建物の茅葺屋根の定期的な修繕を中心とします。また、専門家による研修や、文化財保護への理解促進

のために文化庁が設定した「ふるさと文化財の森」、朝霧高原茅場での茅刈りを計画しています。茅や茅葺屋根、文化財について楽しく学びながら実施していきます。

さらに、今年度は、茅葺屋根などを自分たちで修繕することに関するシンポジウムの実施も検討しています。

ボランティアの募集は夏より随時行っています。ご興味のある方は当館HPをご確認いただくか、電話でのお問い合わせをお願いします。皆様のご応募をお待ちしています。

(橋口 豊)



「かやぶき屋根プロジェクト」って何?
ガイドブック



かやぶき屋根プロジェクトは文化庁令和2年度「ふるさと文化財の森システム推進事業普及啓発事業」として実施しています。

茅守る人
文「茅刈り人」達
高橋健 羽毛田智幸
橋口豊 斎藤宣政
大塚・歳勝土遺跡公園だより
おつか さいかちどいせきこうえん